

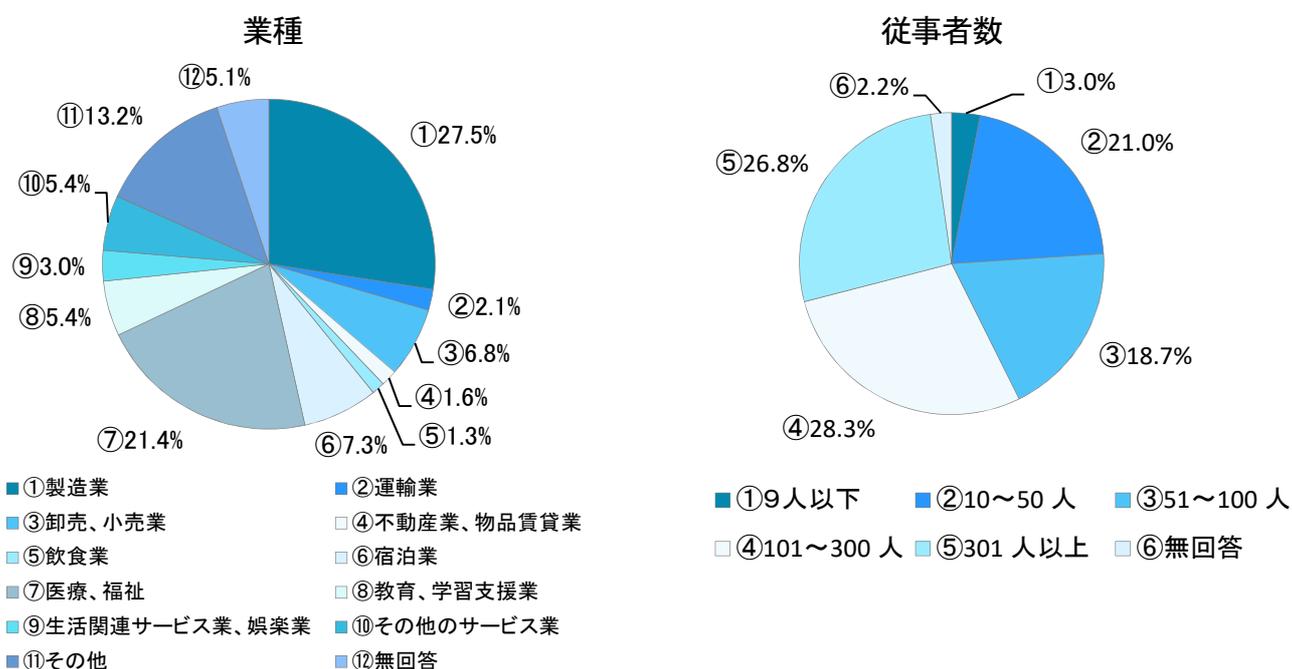
## 「令和元年度神奈川県営水道についての事業所調査」の結果（速報）について

### 【調査の概要】

#### (1) 調査対象・期間等

項目	事業所調査
調査対象	県営水道給水区域内所在の年間使用水量等が 10,000 m <sup>3</sup> 以上の全事業所（921 事業所）
調査期間	令和元年 11 月 18 日～12 月 2 日
有効回答数 (有効回答率)	630 (68.4%)

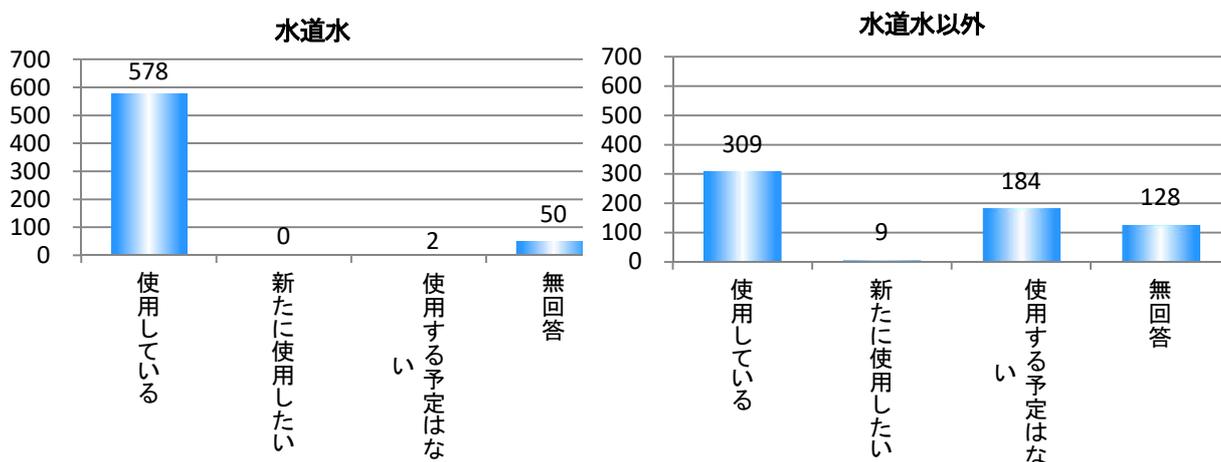
#### (2) 回答者の特徴



## I. 水の使用状況等

#### (1) 水道水等の使用状況及び今後の動向

**設問** あなたの事業所では、水道水や水道水以外の水（地下水、再生水等）を使用していますか。

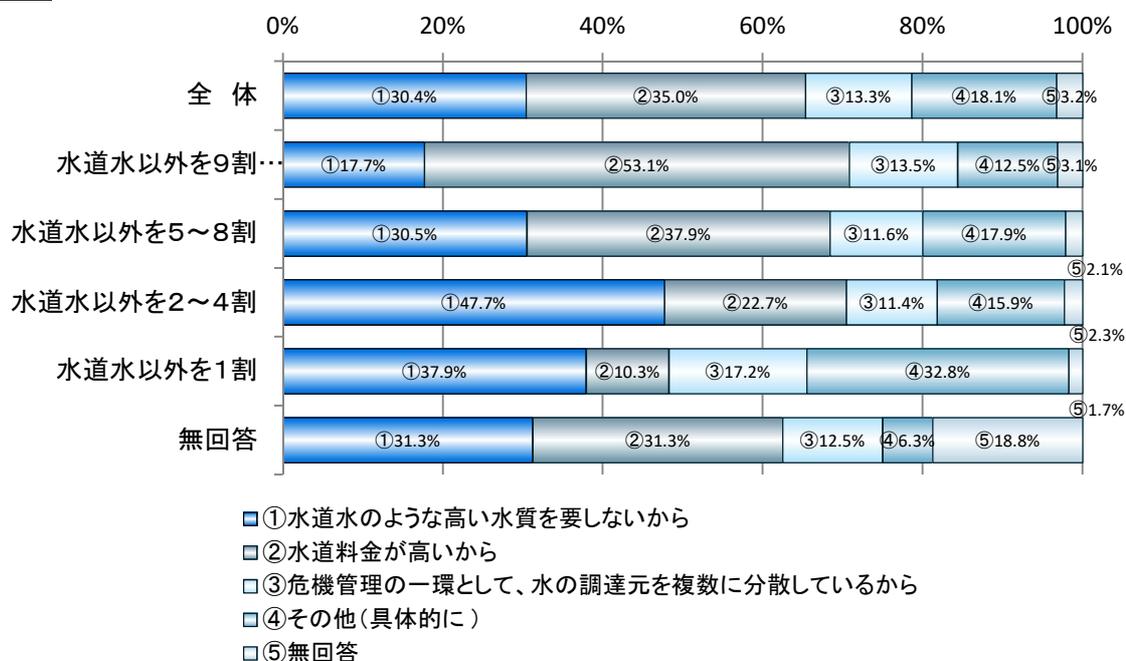


(2) 水道水以外の使用状況の理由 ((1)で「水道水以外を使用している」と回答した者)

事業所の約4割が「水道料金が高いから」、次に約3割が「水道水のような高い水質を要しないから」と回答している。

また、地下水等の使用割合が高いほど「水道料金が高い」という理由が増える。

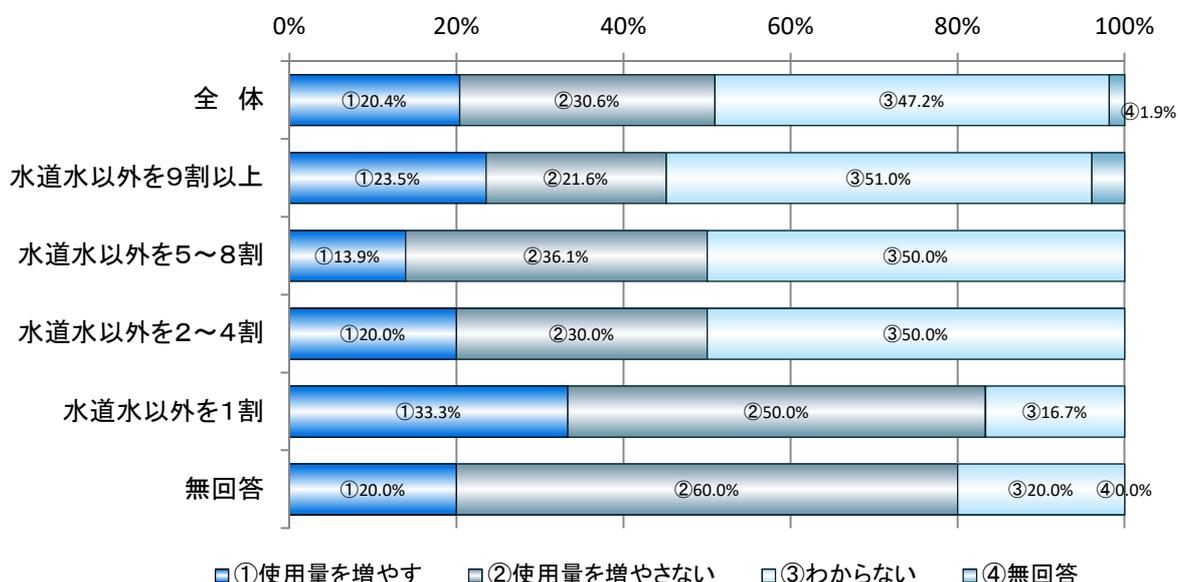
**設問** この1年間の全使用水量のうち、水道水以外の使用水量は全体の何割くらいですか。



(3) 水道料金が下がった際の水道水の使用量増意向 (問1-2で「水道料金が高いから」と回答した者)

事業所のほぼ5割が「わからない」と回答している。

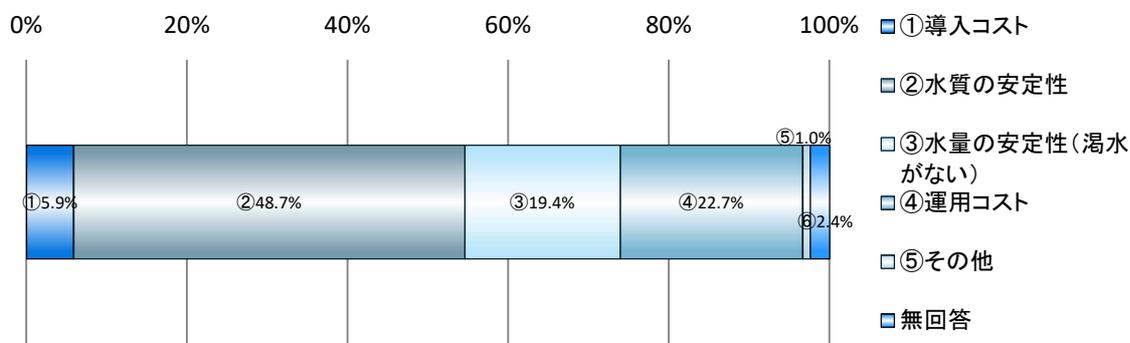
**設問** 水道料金が下がったら、水道水の使用量を増やしますか。



#### (4) 水使用で一番考慮すること

事業所の約5割が「水質の安定性」を最も考慮すると回答している。

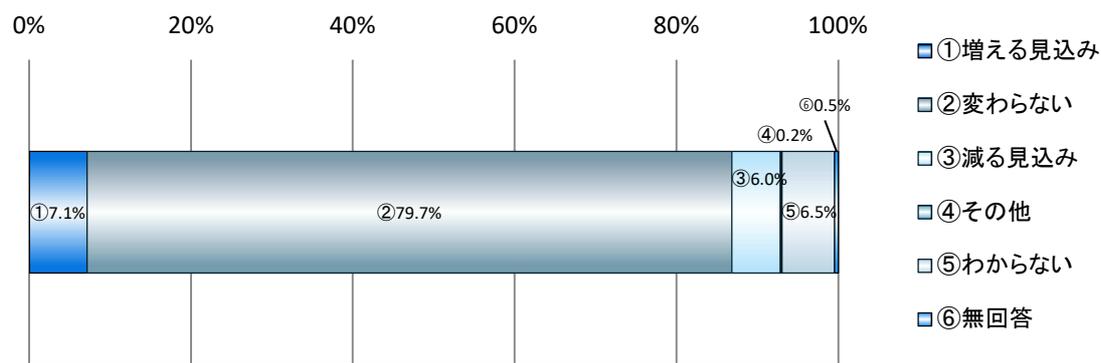
**設問** 水を使用するにあたり、一番考慮することは何ですか。



#### (5) 今後の水道水の使用量

事業所の約8割が「変わらない」と回答している。

**設問** 今後、水道水の使用量の変化について、どのように見込んでいますか。

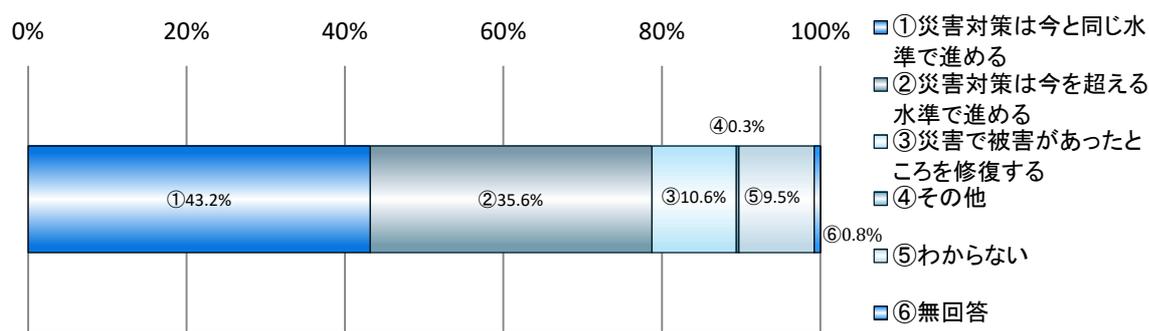


## II. 県営水道の事業について

#### (1) 災害対策の進め方についての意識

事業所の約8割が「今と同じ水準」又は「今を超える水準」で災害対策を進めると回答している。

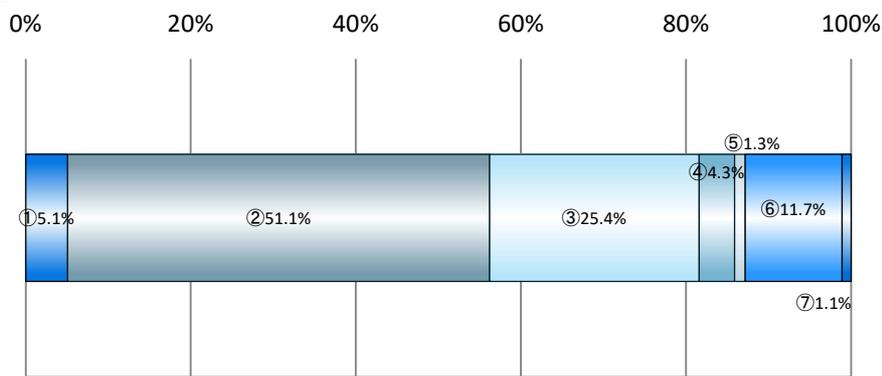
**設問** 今後の災害対策の進め方についてどう思いますか。



## (2) 水道管の更新の取組についての意識

県営水道の水道管の年間更新率を1%以上のペースへスピードアップする取り組みを説明した中、事業所の約8割が、「年間更新率1%以上のペースにスピードアップする」と回答している。

**設問** 水道管の更新の取組についてどう思いますか。

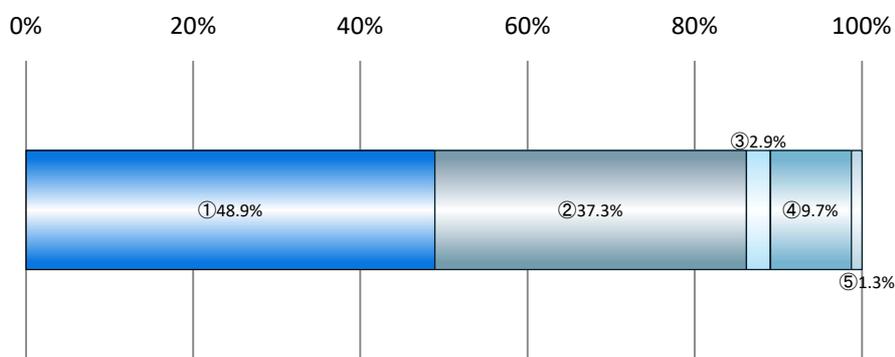


- ①水道管更新は160年かかる今のペースのままとする
- ②水道管更新は100年に1回のペースにスピードアップする
- ③水道管更新は100年に1回よりも早いペースにスピードアップする
- ④水道管更新はしないで、漏水したところだけを修理する
- ⑤その他
- ⑥わからない
- ⑦無回答

## (3) 今後の水道施設の更新及び維持管理についての意識

事業所の約5割が「今の水道料金の範囲で水道施設の維持管理を行う」と回答しているが、一方で約4割が「水道料金が上がっても必要な更新・維持管理を行う」と回答している。

**設問** 今後の県営水道の水道施設の更新及び維持管理についてどう思いますか。



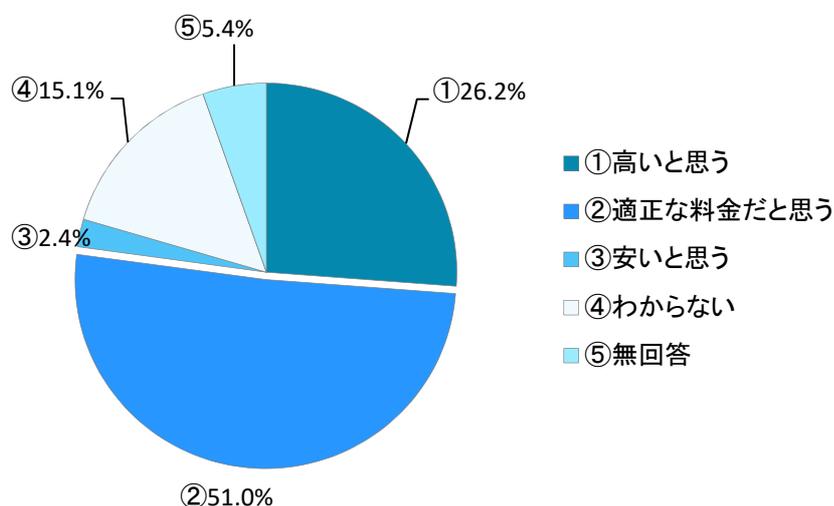
- ①今の水道料金の範囲で水道施設の更新・維持管理を行う
- ②水道料金が上がっても必要な更新・維持管理は行う
- ③その他
- ④わからない
- ⑤無回答

### Ⅲ. 県営水道の上水道料金について

#### (1) 上水道料金について

事業所の約5割が「適正な料金だと思う」と回答している。

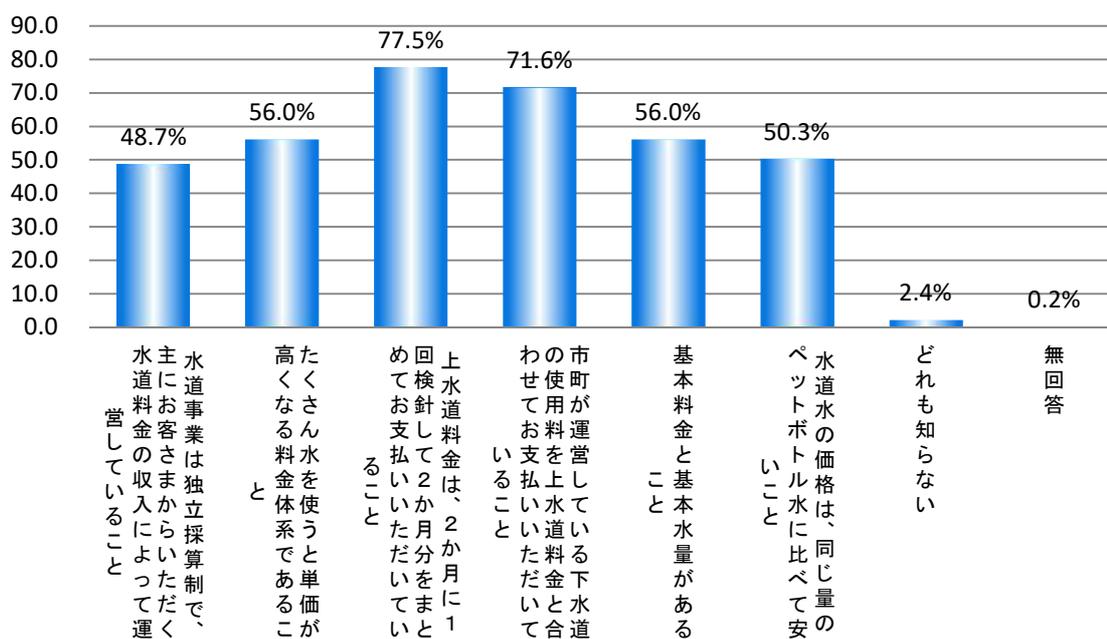
**設問** 現在お支払いいただいている上水道料金についてどう思いますか。



#### (2) 水道料金についての知識（複数回答）

事業所の約5割以上が6項目すべてについて知っているとは回答している。

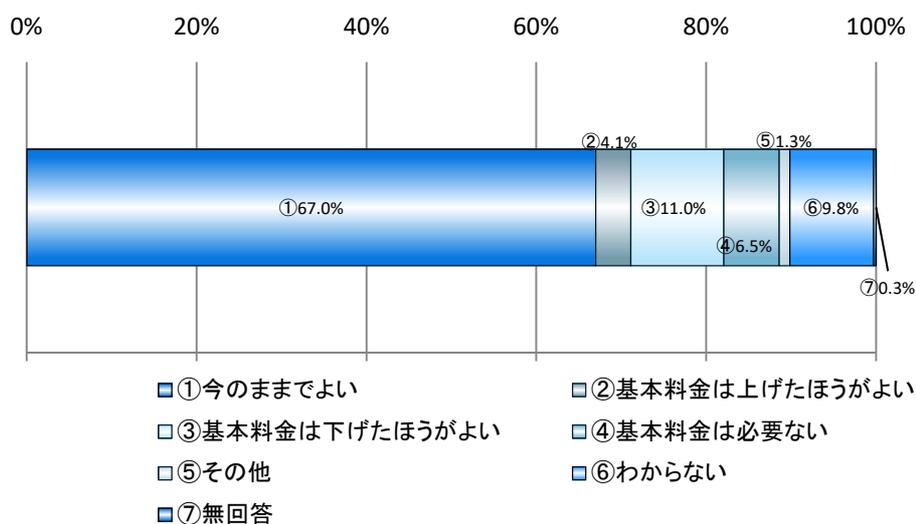
**設問** 上水道料金について、あなたが知っていることはどれですか。



### (3) 基本料金についての意識

事業所の約7割が「今のままでよい」と回答しており、次に約1割が「下げたほうがよい」と回答している。

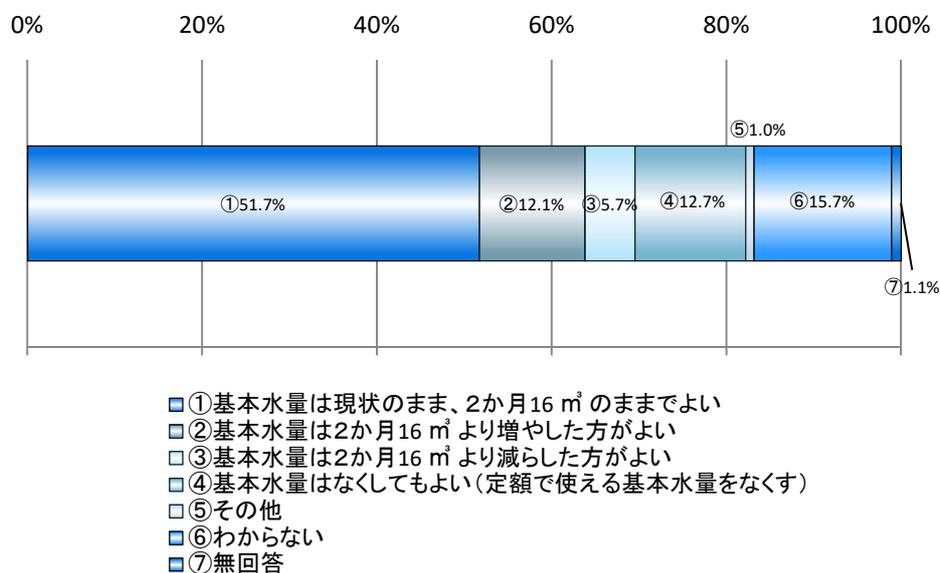
**設問** 県営水道では、水道をお使いいただくための必要な費用をまかなうために、使用量に関係なく基本料金として2か月分で一律1,420円（税抜き）をお支払いいただいています。この基本料金についてどう思いますか。



### (4) 基本水量についての意識

事業所の約5割が「現状のままでよい」と回答し、その一方で、それぞれ1割を超える事業所が、「増やした方がよい」「わからない」「基本水量はなくしてもよい」と回答している。

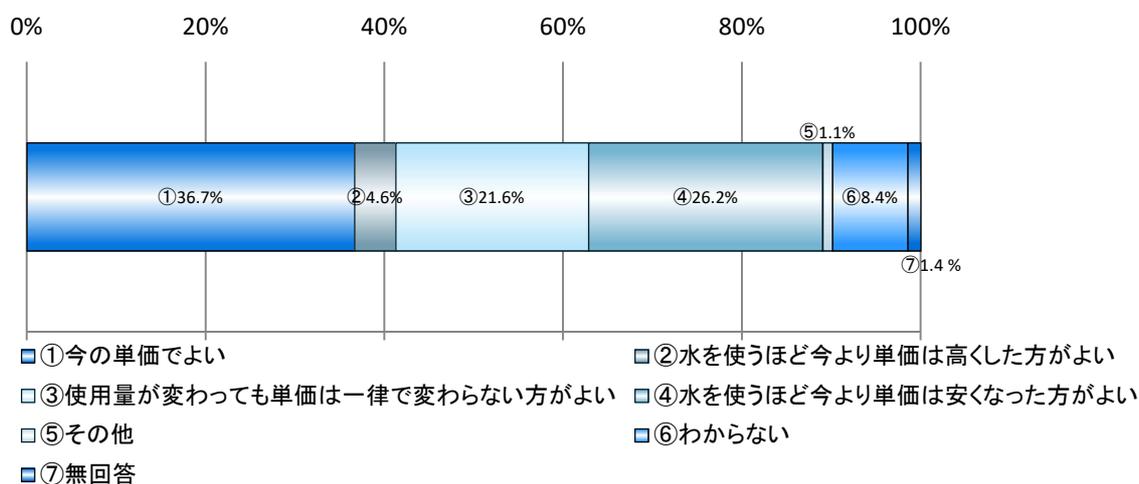
**設問** 県営水道では、水道使用量が2か月で16 m<sup>3</sup>以下であれば、水道料金が変わらないという基本水量についてどう思いますか。



### (5) 従量料金についての意識

事業所の約3割ずつがそれぞれ「今の単価でよい」「安くなったほうがよい」「単価は一律」と回答している。

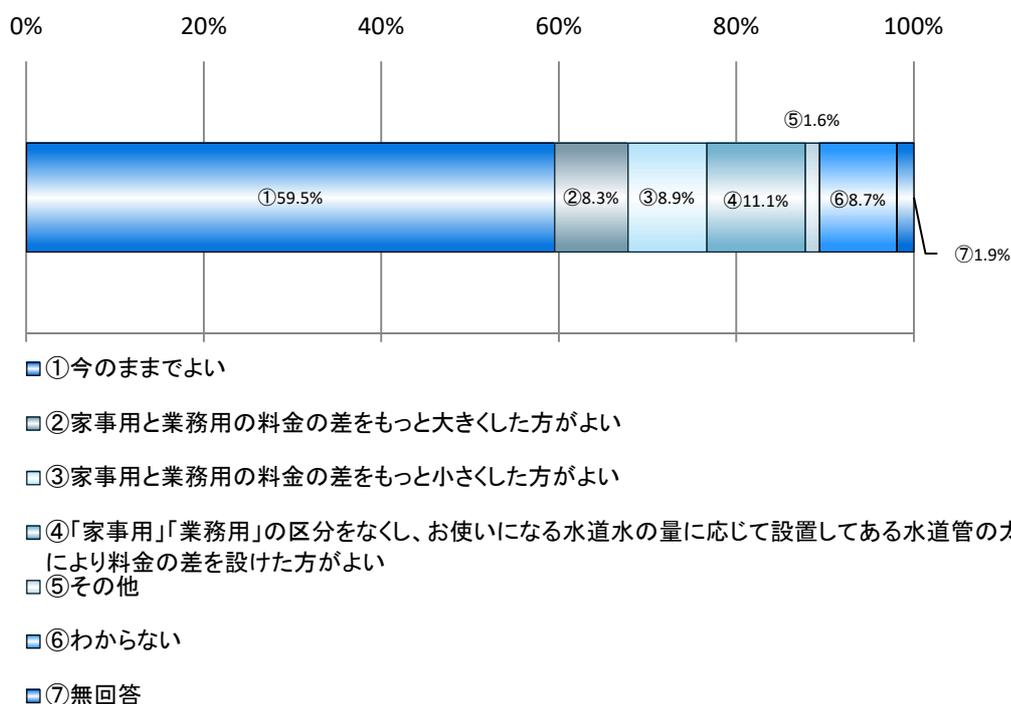
**設問** 基本水量の2か月16<sup>m</sup>を超えると、1<sup>m</sup>ごとに料金（従量料金）が加算されます。また、使用する量が多くなるほど1<sup>m</sup>あたりの単価が高くなります。この従量料金についてどう思いますか。



### (6) 用途別料金についての意識

事業所の約6割が「今のままでよい」と回答している。

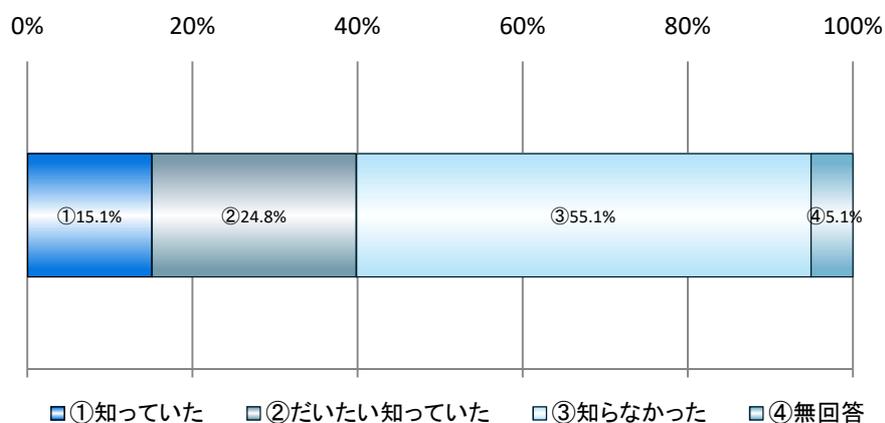
**設問** 県営水道の料金は、一般家庭でお使いいただく「家事用」と企業等でお使いいただく「業務用」などの用途により区分しています。上の表のとおり、家事用は業務用よりも安くなっています。用途別料金についてどう思いますか。



## (7) 水道料金加入制度についての認知度

事業所の約4割が「知っていた」「だいたい知っていた」と回答している。

**設問** この「水道利用加入金制度」についてご存知ですか。

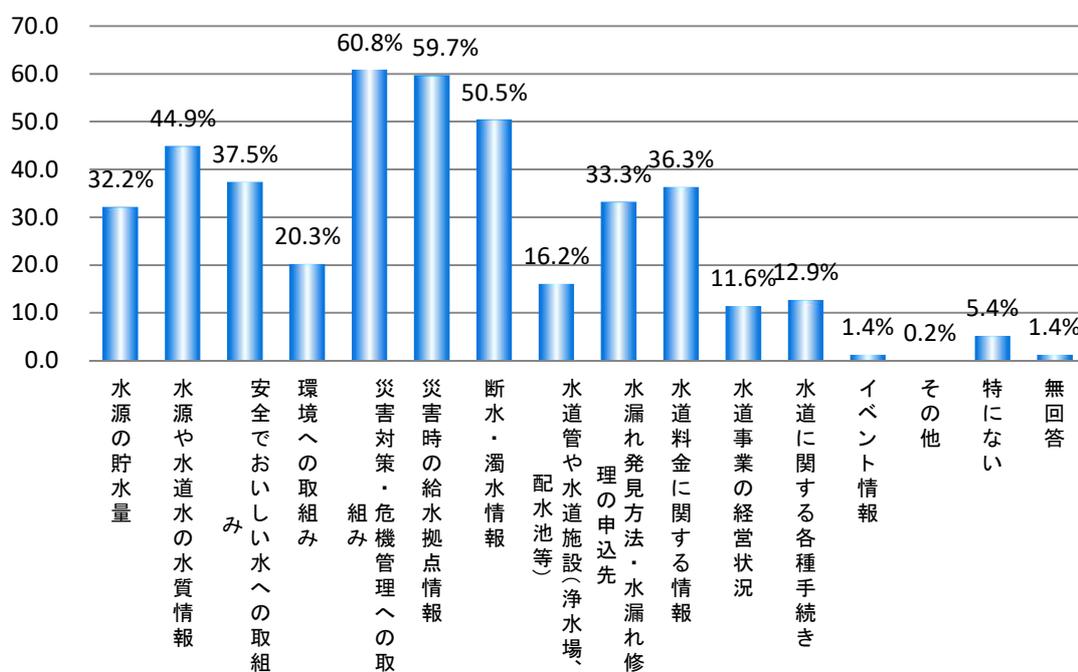


## IV. 県営水道の広報活動等について

### (1) 県営水道について知りたい情報（複数回答）

事業所の5割以上が災害関連の情報について知りたい情報として回答している。

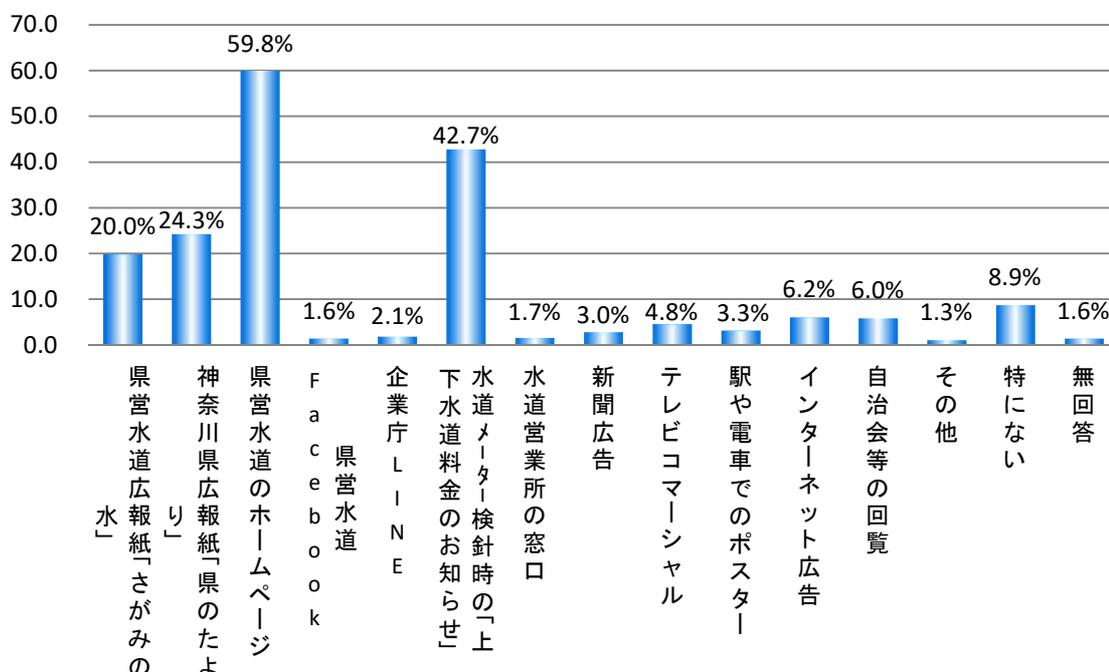
**設問** あなたが県営水道に関して知りたい情報は次のどれですか。



## (2) 県営水道に関する情報を知る手段（複数回答）

事業所の約6割が情報を知る手段としてホームページと回答し、次に約4割の事業所が「上下水道料金のお知らせ」から情報を得ている。

**設問** あなたは県営水道に関する情報を何によって知りたいですか。



## (3) 県営水道が行っている事業について（各項目につき単一回答）

事業所の約7割以上が、「積極的な広報と情報提供」以外の全項目について重要である（「とても重要である」又は「やや重要である」）と回答している。

特に、「災害に強い水道づくり」「老朽化した水道管の更新」と「安全でおいしい水づくり」について95%以上の事業所が重要であると回答している。

**設問** 現在、県営水道が行っている事業等についてどう思いますか。

